



防犯用レコーダーで 振り込め詐欺を未然防止

所沢地区遊技業防犯協力会 (埼玉県遊技業協同組合)

「地区組合員ホールの協力による『振り込め詐欺被害防止』」事業



所沢地区遊技業防犯協力会
会長
木下 真一さん

24ホールが協力して 振り込め詐欺を防ぐ試み

連日のようにマスコミなどで報道されているにもかかわらず、電話やメールなどによる振り込め詐欺（オレオレ詐欺、架空請求詐欺、融資保証金詐欺、還付金等詐欺等）の被害は、一向に減少しない。また、大規模な自然災害が発生したときには義援金や寄付金などをかたった詐欺、さらに、マイナンバー制度やオリンピック開催など、その時々々の社会状況や新たな社会制度に便乗した詐欺の被害も多く発生し、特に高齢者が詐欺のターゲットとなり、大切な老後資金を失うケースも多いため、非常に悪質な犯罪と言わざるをえない。

埼玉県では2015年中の振り込め詐欺の発生件数は1143件、被害額は30億8721万円で、うち所沢市は発生件数では県内市町村で3番目となる63件（未遂6件含む）、被害額では4番目となる1億6097万円となっている。

こうした状況を踏まえ、埼玉県遊技業協同組合に所属する所沢地区遊技業防犯協力会では、所轄の所沢警察署との連携のもと、地区組合員ホール24店舗が協力し、振り込め詐欺被害を未然に防止するための活動に取り組んでいる。昨年9月にスタートした活動は、現在も継続中である。

防犯用レコーダーを ホール賞品として用意

具体的な活動内容としては、組合員ホールの24店舗に賞品の一環として家庭用電話機に簡単に取り付けることが

できる防犯用レコーダー（東芝製、市販価格6500円程度）を各店舗3～4台取り揃えるもので、こうした機器をパチンコの賞品にするのは、埼玉県内でも初めての試みである。

所沢地区遊技業防犯協力会の木下真一会長と所沢警察署の吉川隆二署長が会談した際、振り込め詐欺被害防止に有効なレコーダーの賞品化の話が持ち上がったことが、活動のきっかけという。

この防犯用レコーダーは「防犯用電話自動応答録音アダプター」と呼ばれるもので、これを電話機につなぐと、かかってきた電話に対し、「この電話の通話内容は防犯のために録音されています」というメッセージが自動的に流れ、会話内容が録音される仕組みになっている。消費者庁のアンケートによれば、こうした録音機の設置で、悪質な電話が1/10程度に減ることが報告されている。

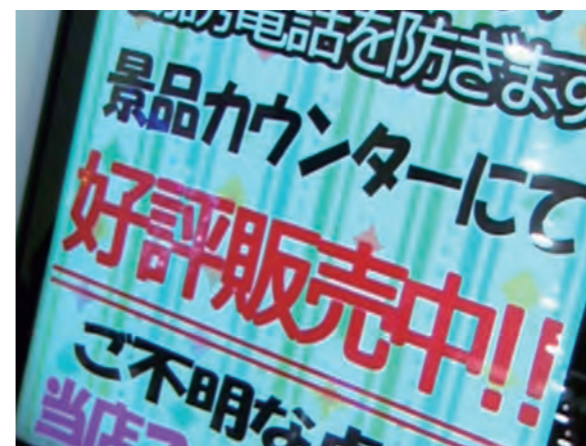
この事業にあたって、所沢警察署長から「振り込め詐欺被害防止協力事業者証」の交付を受けた木下会長は、「パチンコ店は高齢者の利用も多い。協力いただける各店舗に置いて、賞品として活用していただきたい。店舗によっては利用者の半分以上が高齢者の時間帯もあるため、地元の協力会として、できる限りのことをしていきたい」と、毎日新聞の取材に答えている。

防犯用レコーダーは、組合員各ホールに合計80台を賞品として取り揃えた結果、50台ほどが交換された。

この取り組みは毎日新聞以外にも、朝日新聞、産経新聞、埼玉新聞などに取り上げられたほか、NHKの首都圏ニュースでも放映され、所沢市民のみならず、広く埼玉県民にも周知されることになった。同協力会では、「活動を通じ、ホールのお客様、特に高齢のお客様に対して振り込め詐欺の被害にあわないよう広報啓蒙することができた」と、その活動について分析している。埼玉県に限らず、振り込め詐欺は全国で起きている。こうした取り組みが全国に広がり、ホールから振り込め詐欺被害の未然防止の輪が広がることを期待したい。



組合員ホールに賞品として取り揃えた



ホール内のディスプレイを使って遊技客へ周知



賞品化した「防犯用電話自動応答録音アダプター」